

京橋の印刷

3月30日1993・No.85

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 3552-1855

発行人
神林克明



新装なった南高橋より新川2丁目方面を望む

新たな潮流

副支部長 荒川龍治

平成五年は皇太子殿下のご婚約という慶事とともに明けました。

当支部に於いても、二月に中央区工団連の三十周年を迎え、九月には支部創立七十周年を祝う記念すべき年であります。

しかし我々を取り巻く環境は厳しいものがあり、社会的には大きな変革の時代であります。政界に於いては来るべき二十一世紀に備えて、新たな日本を構築する為の政治改革が急がれ、長引く経済不況のもと多くの企業がリストラクチャリング、或はダウンサイジングによる将来に向っての企業体質の安定と強化を図っております。

東印工組に於いても全印工連のもと、昨年より「取引慣行の改善」等の作業を精力的に進めており、更にこれを通して新技術の理解と習得を深め、労働時間の短縮等、新たな時代にも耐え得るよう、体質のより強固となることを目指しています。

一方、新たな時代に対応し、地域の活性化をも意とする地場産業振興の大きな試みとして、中央区工団連による「JST-21計画」が具体的に動き始めました。これからの時代、諸々の社会構造の変革とその制約の中で、需要の変化を生産に最も効率的に結びつけ、当支部のロジスティックスの優位性を発揮することが期待出来る計画であるとおもわれます。

このような時、支部組合員の皆様と共に、新たな理念をもって新たな潮流に乗って進み始める意義深い年でありたいと思えます。

新年臨時総会開催

2月5日 於・伊豆山水葉亭

神林執行部になって初めての新年臨時総会が2月5日(金)、午後4時より伊豆山・水葉亭にて支部員93名が出席して開催されました。十文字副支部長の司会により荒川副支部長が開会のことばを述べた後、神林支部長が、次のように挨拶をしました。

「昨年は、皆様のご協力で大過なくすごしましたが、今年も不況風が肌に冷たい日々が続いています。しかし昨秋の幕張プリンテックは、支部員の皆様から、大変ご協力戴き、1030名の多数が参加して、成功への一翼を担い、組合活動の原点を確認する事が出来て、非常な感動を覚えしました。又、中央区産業文化展、東京都政治連盟主催、都議選激励パーティー等にも多数、ご参加、ご協力を戴きました。東印工組主催の「新春の集い」にも、50社以上が出席して、多くの方々と一緒に会し、組合が協調、団結する熱気に触れて、感動が今改めて、よみがえってきます。今月9日には、中央区商連40周年・工団連30周年記念式典があり、又9月17日には、支部創立70周年記念式典と続きますが、その感動を今日の臨時総会から、70周年へと継いで行きたい。今日は当支部70周年の行事についてと、



前期役員の方々へ感謝状を贈呈して、その労をねぎらいたいと思います。」と支部活動への協力について挨拶を述べました。

続いて議事の70周年記念行事について、水野副支部長が、京橋支部の設立に至る経緯について、「日本の印刷の生みの親といわれる本木昌造翁、平野富次郎による築地活版所の開設からひととき、築地を中心とする界限は活版印刷発祥の地であった。又京橋支部は、120社によって、

大正12年8月に設立され、翌月9月8日の発会式を目前にした9月1日の関東大震災により、灰塵に帰したが、先達の努力のもとに復興して東京の地場産業の核として今日に至り、70周年の記念日を迎えようとしています。」とその開催意義を強調して、今年9月17日、銀座東武ホテルで、70周年記念式典を挙行するので、支部員の皆様に協力をお願いしたいと述べました。続いて前期役員への感謝状が神林支部長から、まず田島前支部長へと朗読され記念品と共に手渡されました。続いて副支部長7名を代表して、近藤前副支部長、地区長9名を代表して、今竹前築地地区長、幹事31名を代表して、浅野前湊地区幹事へとそれぞれ、神林支部長から感謝状と記念品が手渡されて、満場の拍手でもってその労を讃えられました。議事は以上で終り、来賓挨拶に移り、東印工組本部常務理事の小山英美氏が本部事業について次のように述べた。

「平成五年新年臨時総会が盛会裡に終了しました。ご同慶に存じます。」

神林支部長さん始め役員の皆様のご努力に對しました、平素から支部の先輩、組合員の皆様には、組合事業に格別のご支援、ご協力を頂い



ておりますことを心からお礼申し上げます。
 昨年九月の東印工組が全力を挙げて開催した
 “プリンテック’92 TOKYO”には大変なご協
 力を戴き、新春の集い“にも大勢ご参加を下さ
 います。感謝いたします。

東印工組常務理事に就任して八ヶ月が経過し

ました。所属している事務用印刷委員会の事業
 課題を通してその活動内容の概要と、組合の当
 面する問題の中で、特に身近なことにについて、
 二、三お話しをいたします。

事業の主なものに、全印工連と共通している
 「取引条件・慣行の改善」の研究と「新料金体
 系」の研究の課題があります。今業界の環境
 は厳しいものがあります。このような時に従来
 の悪しき慣行や取引の不当な条件の改善点を整
 備して、業界内外に適当な時期をみて大いに活
 用するために努力しております。それから「新
 料金体系」の研究は水漏れ体質と言われており
 ます印刷料金の適正化と、特に版下組版工程
 (プリプレス)分野の電子器械の革新は厳しい
 ものがあります。特にこの新しい分野の料金体
 系の整備確立が急がれます。現在財団法人経済
 調査会と研究討議を続けているところです。

身近な問題として「労働時間短縮」推進の
 課題があります。ご承知のとおり労基法では法
 定労働時間を本則では週四十時間と規定し、た
 だし、政令により週四十四時間。猶予措置とし
 て、製造業の場合、一〇〇人以下の規模につい
 て、平成五年三月三十一日迄週四十六時間と
 なっております(平成六年三月三十一日迄一年
 間延長されました)。年間総労働時間一、八〇
 〇時間にむけて数年を経ずして加速がついて推
 移するであろうと予想されます。この問題は避
 けて通れない重要課題です。現在の景況の中で
 難しいことではあります。経営の見直しと、
 同時に労働条件、労働環境の整備をすることが

必要だと思えます。

東印工組の最も大きな事業として構造改善事
 業があります。現在の第三次構改は今年の三月
 で終了します。従って第四次構改の認可申請の
 ための作業が始まります。構改事業計画書を策
 定して申請するわけですが、その中には法に定
 められた所定の書類作成が義務づけられていま
 す。それは業界・経営分析の資料(業態調査
 書)の提出です。塚田理事長は組合員各位には
 各種の調査でうんざりしているのはよく理解し
 ています。しかし、この業態調査書はどうして
 も必要です。全組合員のご提出をお願いしまし
 と要請されております。重ねてお願いをいたし
 ます。

第四次構造改善事業計画は「電子化と高付加
 価値でつくる豊かさ」と生産性の「ハーモニー」と
 サブタイトルをつけられております。電子化と
 高付加価値で豊かさ」と明るい業界が創られます
 よう皆さんのご繁栄とご健康をお祈り申し上げ
 てご挨拶とします。」

次に中央区工団連の平林会長は、工団連30周
 年記念行事や地場産業対策について述べました。
 最後に宮入副支部長により閉会のことばがあり
 総会は5時過ぎ終了しました。

午後6時からは、印刷関連企業32名の出席を
 得て宴会が開かれ松本副支部長の進行により、
 神林支部長が、関連業界にお礼の言葉を述べて、
 「今宵は景気の事は忘れて楽しく過ごして下さい。
 」と挨拶しました。次いで、関連業界の各
 社が松川副支部長によって紹介されて参加者の



拍手を受けました。最後に東製工組京橋支部長、城所虎雄氏が関連業界を代表して、挨拶をしました。続いての乾杯にさきだち、新年を寿ぎ、謡曲「鶴亀」を田島相談役が舞台上に正座して力強い声を披露されました。



乾杯の音頭は、石澤顧問によって行われ、皆酒を飲み交しながらの歓談に一時を過ごし、カラオケ大会等で賑やかに盛り上がった後、8時過ぎ、中締めが久保田顧問によって、行われてお開きとなり、各地区の部屋での二次会と相成りました。翌朝は晴天に恵まれて各自早朝のゴルフ会や観梅にと、それぞれ出発しました。



京都印刷工業組合京橋支部新年臨限



中央区工業団体連合会、創立30周年記念・ 中央区商店街連合会、創立40周年記念式典

2月9日(火)、中央会館大ホールにて、午後3時から、中央区及び両連合会の主催にて、表彰式が行われました。まず、区商連、橋本会長、工団連、平林会長がそれぞれ挨拶のあと、区長表彰が行われ、工団連関係功労者18名、区商連関係功労者8名に対して、矢田中央区長からの感謝状が各代表者へ手渡されました。当京橋支部から、小葉・田島・神林の各副会長が表彰されました。続いて両団体会長感謝状が、区商連107名、工団連45名の功労者表彰が行われ橋本・平林両会長より各代表者へ感謝状が手渡されました。当京橋支部からは、小山相談役の他、坂田・中山・金山・瀬戸・宮入・近藤・松本・十文字・荒川・佐藤・水野・村上・荒木各氏、15名が表彰されました。続いて、例年行われている各種表彰があり、工団連関係では、中央区工業事業主(20年以上経営者)8名が表彰され、当京橋支部からは、弘報印刷(株)、西田将氏が表彰されてました。次いで工業優良従業員表彰が行われて、33名が表彰、当支部から、7社、15名の永年勤続優良従業員の方々が表彰されて表彰式は終了しました。

続いて、受表彰者代表の謝辞があり、関係団体

来賓の祝辞と来賓紹介があり、記念式典は終了しました。第二部としてアトラクションが行われ漫談、堺すすむ、落語、林家木久蔵の楽しい演芸で、楽しんで、4時間半すぎ終了しました。



コニカ(株)小田原工場

見学会開催

慌だしい年末の一時、12月16日(水)、コニカ(株)小田原事業場を見学して、フィルム製品の製作工程を勉強しました。支部執行部有志10名が参加して、小田原急緑の富水駅前にある同社工場を、三雄舎印刷(株)、十文字さんの紹介で忙しいところを訪問して、工場長他の係員の説明、映写で1時間勉強の後、工場内を見学しました。同社は白黒映画紙の生産から始まり、現在のカラー映画紙の生産が中心となっており、昔は、真黒闇の中で、大勢の女子工員が手さぐりで、塗付作業をしていた工程が、現在は全て自動化されて、コンピューターで材料の送り込みから製品の検査、出荷迄、一貫して制御されており、約600名の従業員が3交代で、連続生産されています。年末年始と盆休みだけ、工場がストップするという事です。見学を40分程で切りあげて、又会議室に戻り質疑応答をして、有意義な時を過ごして、おみやげの使い捨てカメラとフィルムを手に丁寧な見送りを受けて帰路につきました。この後、小田原から新幹線で熱海へ向かい、新年臨總會々場下見のため、伊豆山・水葉亭に到着、会場・部屋等を検分して打合せをしました。

地区だより

入船地区

入船地区には30数社の組合員が東京都印刷工業組合に加入しています。事務用、商業用及びフォーム印刷と多種多様な業種内容をかかえ、入船1丁目、2丁目、3丁目そして一部他の地域にその事業所を設置しています。ここ数年、土地事情の変革が当地で永い間宮んで来た工場を閉鎖或は他の地域への移転等と組合員も漸減しているのが現状です。

しかし根強い自意識の向上と、歴史と伝統に支えられて周囲の厳しい変動の中にも頼もしい姿勢を発揮しているようです。さて当地区には各会社の代表者である社長同志の親睦と交流を図る目的で入船懇親会という名称で年に数回旅行をはじめとして定例の懇親会を開催し当地区間の相互の円滑と情報に役立てるべく積極的に実施しています。又二十余年も前に発足した二十日会(後継者である二世を養成し将来の経営者としての心構えを学ぶ会?)も現在も健在で年数回の定例会・旅行会を通して後継者として自信を持って対応できる様、相互の長所、短所を検討し意義有る組織とするべく研修会、見学会を重ねているようです。

将来きつと入船地区に限らず他の地域でこのメンバーが活躍されることを期待したいと思います。

ます。

なお、将来に希望のある業界にするよう積極的な入会を本誌上をかりてご案内したいと思います。

ミズノプリテック(株)

「プリンティング・カルチャー」

出版記念会

於・東武ホテル

ミズノプリテック(株)の創立45周年を記念して出版された「プリンティングカルチャー」の出版記念会が2月8日、正午から、銀座東武ホテル「桜の間」で、約20名が出席して開催された。京橋支部からは地元、入船地区の方々を中心に神林支部長他の役員も招かれて、同社取引先の方々や、この会の発起人の15名の方々も加えて盛大に催されました。まず、大橋貞雄共同印刷会長が発起人を代表して挨拶した後、評論家の弥田順一郎氏も水野社長の業績を讃えました。乾杯には、京都から駆けつけた、森田嘉一京都外語大総長が音頭をとり乾杯してお祝いを致しました。パーティーの終了間際には、鳩山邦夫議員も駆けつけて挨拶をしました。

尚、2月5日からは、銀座ミキモトホールで「プリンティングカルチャーの世界展」(今甦える印刷の歴史)が、16日迄、開催されていて、数多くの参観者を集めていました。

支部の動き



- 12月4日(金)顧問・相談役・参与の会、(17時30分～19時)、於・躍金楼、会費1万5千円、中央区地場産業振興21ST小委員会発足
- 12月7日(月)工団連印刷・製本分科会、(12時～14時)、於・支部室、神林支部長他出席
- 12月9日(水)工団連正・副会長会、(10時30分～13時)、於・中央区役所
- 12月16日(水)コニカ(株)小田原工場見学会、(13時～16時)、於・コニカ(株)10名参加、終了後、伊豆山・水葉亭、新年会場下見宿泊。会費2万円。

12月17日(木)工団連印刷・製本分科会、(17時30分～19時)、於・支部室

12月28日(火)支部事務局仕事納め

1月5日(火)支部事務局仕事初め

1月12日(火)中央区工団連新年会、(18時～19時30分)、於・中央会館、神林支部長他出席

1月13日(水)東印工組”新春の集い“(17時30分～19時30分)、於・椿山荘、56名出席

1月14日(木)中央区正副会長会、(10時30分～13時)、於・中央区役所、神林支部長他出席

1月20日(水)部長・監査・地区長会、(11時～12時)、於・支部室

1、本部支部長会報告事項

。新春の集い申込状況、約1千名

。事業者台帳と構改調査表の早期提出

2、当面する支部事業について

新年臨時総会開催、12時30分役員集合

中央区工団連30周年記念式典、2/9、中央会館、京橋支部より15名受彰

。支部コピー機(中古)購入、木島氏譲渡

1月22日(金)京橋製本協同組合新年会、(18時～20時)、於・築地東天紅、神林支部長出席

1月27日(水)中央厚生事業協組新年会、(18時～20時)、於・八丁堀鳥福、神林支部長出席

2月5日(水)京橋支部新年臨時総会、(16時～17時)、於・伊豆山水葉亭、会費2万3千円

司会 十文字副支部長

。開会のことば 荒川副支部長

。挨拶 神林支部長

。議事

70周年記念行事について

前期役員へ感謝状・記念品の贈呈

その他

。来賓挨拶

東印工組常務理事、小山英美殿

中央区工団連会長、平林智司殿

。閉会のことば 宮入副支部長

。新年宴会次第(18時～20時)

進行 松本副支部長

。挨拶 神林支部長

。関連業界代表挨拶

東製工組京橋支部長 城所虎雄殿

。乾杯 京橋支部顧問 石沢 幸殿

。中締 京橋支部顧問 久保田幸一郎殿

2月8日(月)ミズノプリテック(株)出版記念祝賀会

(12時～13時)、於・東武ホテル

2月9日(火)中央区商団連40周年・工団連30周年

記念式典(15時～17時)、於・中央会館、神林支部長他役員出席

2月15日(日)中央区工団連印刷・製本部会(17時30分～20時30分)、於・支部室

。地場産業振興策について打合せ

2月23日(火)京橋電気安全協合理事会(11時30分～12時30分)、於・京橋消防署

2月23日(火)新川地区町づくり協議会(18時30分～20時30分)、於・新川区民館、十文字副支部長出席

2月24日(水)東商中央支部振興委員会(11時～13時)、於・東商中央支部、神林支部長

2月25日(木)東印工組東京地区協議会(15時～17時)

時)、於・竹橋会館、神林支部長出席

2月25日(木)京橋地区町づくり協議会(18時30分～20時30分)、於・中央区役所

松川副支部長出席

3月4日(木)構改調査票説明会(15時～17時)、於・ディックビル、神林支部長他出席

3月9日(火)部長・監査・地区長会、(11時～14時)、於・支部室

1、支部長会報告の件

。事業者台帳の回収状況について、京橋支部2/8現在、53.4%、3/2現在70%。

2、第4四半期の事業推進について

。構造改善―第3構改のまとめ、電子編集機の選択研修会、3/4DICビル

。経営改善関係―取引条件(慣行)改善への取組み

。小規模関係―情報FAX、かわら版の発行

。教育関係―印刷生産技術講座、高等職業専門学校シンポジウムの後援(2/19都庁)

。構造高度化戦略計画の策定

。労務―賃金調査のまとめ

。厚生―全国生命共済加入増強運動

。組織―コンクール事業協力

。総務―事業者台帳回収推進

。報告事項、新春のつどい開催結果報告、総勢991名、(内、組合員約700名)

。各種コンクール入選者

3、当面する支部事業について

。通常総会日時、5月19日(火)、18時、中央

会館、会費 8 千円

。長寿者の集い”開催、6 月 22 日(火)、12 時、京橋会館、会費 5 千円、70 歳以上

。中央区工団連宿泊研修旅行、6 月 13・14 日、群馬場・四万温泉、会費 7 千円

。京橋支部 70 周年記念事業について、日時 9 月 17 日(金)、17 時、銀座東武ホテル、支部員 130 名、関連業者 50 名、来賓・報道 30 名を予定。功労者表彰、記念誌発行他

。支部永年勤続従業員表彰式、10 月開催

。その他、支部報発行 3 月末、臨時部長会、監査会各 4 月初旬開催

3 月 11 日(木)本部支部長会、(15 時～17 時)、於・印刷会館 4 階、神林支部長出席

1、本部事業推進についての協議

。第 4 次構造改善事業調査について、3 / 4 (木)構改委員会にて調査票記入説明会、

3 / 9 (火)全印工連、構改準備委員会にて確認調査票は 3 月下旬配布、4 / 20 迄に回収 75 % 全印工連主催「説明会」への参加希望、3 / 30 (火)、12 時～16 時、於・八重洲富士屋ホテル 2 階

。地場産業構造高度事業戦略説明会について

3 月 15 日(月)70 周年記念事業実行委員会、(17 時

～19 時)、於・支部室、各委員出席、

3 月 18 日(木)本部理事会、(15 時～17 時)、於・東条会館・新館、神林支部長他理事出席

3 月 22 日(月)70 周年記念誌委員会、(17 時～19 時 30 分)、於・支部室、各委員出席

支部員の異動

脱退組合員

。(有)宏洋社、湯浅寛庸殿が(湊地区)脱退されました。(12 月)

。(株)日刊食料新聞、近藤正弥殿(築地地区)が脱退されました。(3 月)

。和田印刷所、和田はつ殿(八丁堀地区)が脱退されました。

所在地変更

。(株)典文社は、本社ビル竣工に付、築地 2-4-10 に移転しました。電話、3541-2011、FAX、3541-1016 です。

支部移動

。(株)創文(八丁堀地区)は、墨田支部へ転出しました。(12 月)

支部名簿の電話番号訂正のお願い

。(株)フヨ(湊地区)の電話番号が 3552-1515 が正しい番号です。申し訳ありません。

。安西一誠堂印刷(月島地区)の FAX 番号も、3531-8951 が正しい番号です。ご訂正願います。

お悔み申し上げます。

▼新川地区、明祥印刷(株)会長、小森幸太郎殿が逝去されました。(12 月)

▼新富地区、(株)光雄社印刷所会長、山内吉之丞殿が逝去されました。(12 月)

▼入船地区(株)王友社社長御母堂、松橋うた殿が

逝去されました。(12 月)

▼新富地区、オカムラ印刷(株)社長御尊父、岡村松治殿が逝去しました。(1 月)

▼銀座地区、丹祥堂社長令夫人、神保芳江殿が逝去されました。(2 月)

編集後記

3 月になってから、寒い日が続く毎日ですが、花の便りは、今年は早いようで、桜の開花も平年より早くなるとか。さて京橋支部の新年臨時総会も盛大に行われて、神林支部長の 70 周年記念事業への協力の呼びかけがなされました。

その具体的取組みがこれから役員が手分けして着手すべく、各地区長有志の協力を得て始めようとしています。一方支部では、第四次構造改善事業に向けて、4 月 20 日迄に、構改調査票を出して戴いて、75 % の回収率をもって通産省へ計画書を提出して、認可を得る予定ですので、支部員各位の御協力をお願い致します。

さて支部事業としては、5 月の総会のあと、6 月 19 日には「長寿者の集い」を開催する予定です。中央区工団連の宿泊研修旅行も 6 月 13・14 日に行われます。皆様のご参加をお待ちします。今月号は、記事原稿が少なく、8 頁となりました。皆様のご投稿をお待ちしています。随想、旅行記、何でも結構です。よろしく。

(岩本)